

さちひろ

天理教狭千廣分教会の広報紙
1面・その原因は私たち自身に
2面・幸せを届ける言葉
3面・おやさま逸話篇から
4面・教会の動き・編集後記

発行：天理教狭千廣分教会 〒589-0021 大阪狭山市今熊1-1133 TEL072-365-2571

E-mail:wat@sachihiro.com url:http://sachihiro.com 編集兼発行人・山口 渡

教会の動き

- 朝づとめ…毎朝・6時30分
- 夕づとめ…毎夕・7時00分
- 春季大祭…1月21日午後1時30分
- 秋季大祭…10月21日午後1時30分
- 月次祭…毎月21日 午後1時30分
- 春・秋季霊祭…3月22日、9月22日 午後1時30分

※教会の場所は、左の地図の🌸マーク。市立公民館の裏・西側です。

教会の動き



右のポスターの画像にありますとおり、来る六月二十四日は、狭千廣の上級教会・狭山分教会で、別席団参を実施いたします。

別席団参

神様のお話を特別の部屋でじっくり、重ねがさね(月1・9回)聞かせていただいで、心が澄んだ暁には、病んでいる人をたすける道として教えられたおさづけの理が戴けます。初めの方も、これまで何席か運ばれている方でも参加できます。この際、この別席を受けてみよう、聞かせてもらいたいという方は、下の電話番号までご連絡ください。



編集後記

▼暖冬と言われています。大阪狭山市も本格的な冬なく春になりました。遅れましたが、第15号ができました。

▼巻頭から2ページに、前々回・前回は引き続き村上和雄先生の記事を1月27日産経新聞・正論から転載しました。

▼村上先生は、11月に開催された広島国際平和会議で、ノーベル平和賞受賞者3人の言葉を引用しながら、「問題が起こっているその原因は、私たち自身自身にあります。そして、その解決もまた私たち自身自身から始まるのです。世界を変えるのに必要な力は、あなたの中にあるのです」と訴えられています。

▼わがホームページにブログはWordPress というMySQL使用のPHPです。まだ発展途上です。 <http://sachihiro.com> #やまさんのブログ からお入りください。

さちひろ 第15号

編集兼発行人・山口 渡
平成19年3月10日
大阪狭山市今熊1丁目1133番地
TEL・072-365-2571

その原因は、私たち自身自身に

サンケイ新聞【正論】蘭で村上和雄先生が「他者の苦しみ、痛みに関心やめよう」と訴えます



2006年11月に広島国際平和会議が開催され、ノーベル平和賞受賞者が来日した。それは次の3人である。亡命生活の中、愛と非暴力でテロ問題を決しうとするダライ・ラマ14世。南アフリカの不条理な人種差別政策を廃止させ、人々の和解につとめるデズモンド・ツツ大主教。北アイルランド独立闘争で犠牲になった子供たちのために立ち上がったベティ・ウイリアムズ氏である。

会議初日、ダライ・ラマ14世は次のように発言した。「人間は社会生活を営む生物である以上、個人の幸せは社会に依存している。経済や人口増加、環境問題など、あらゆる事象がグローバル化した時代だからこそ、世界全体を『人類家族』ととらえる考え方が重要だ。その意味で、人類一人一人が『普遍的責任』を負っているのである。

すべての人間は他者を思いやる心を持つ。すべての人間は母親から生まれる。そして、母親から無私の愛情を注がれて育つ。他者への思いやりの心は、母親によつてはぐくまれるのだ」

次に登場したウイリアムズ氏は、冒頭にこう言った。「ノーベル平和賞受賞者としてこの場にいますというより、一人の母親として発言したい。生まれてきたすべての人間は皆、兄弟姉妹だと考えている。子供たちは、みんなの子供だ。年間、1400万人の子供が世界中で殺されている。今こそ耐えがたい痛みと死の状況を一変させなければならない。献身、努力、勇気を持つて、世界中で毎日続いている恐怖を変えていくべきだ」

翌日講演したツツ大主教の話の核心は、罪を犯したものを許すということだった。

「南アフリカの人種隔離政策が終わりを告げたとき、多くの人々は残酷な報復行為が起こるのではないかと考えた。しかし、それは起こらなかった。むしろ、和解のための委員会が開かれた。

それは、長い間虐げられてきた黒人が寛大な精神を持つて許そうとしたからだ。大切なのは、現実を直視することだ。感情的には非常な困難がともなうが、南アフリカではまさにそれが行われている。

人は変わる。善良な人間になることができる。昨日の敵でも、明日は友になれる。これが南アフリカで起こっている。ならば、世界中のどこでも可能なはずだ」

3人の発言は、民族、宗教、国家の次元を超え、図らずも「人類は一つの家族である」ということで一致していた。

それぞれが、想像を絶する苦難を乗り越えながら、

弱者に対して温かい手をさしのべ、正義に對し敢然といまなお闘っている。そのような3人の姿に接し、私たちは大いなる勇気をいただいた。

『原因は自分自身にある』

私はこの会議の総司会をつとめた。その中で次のように発言した。

医学・生物学上で20世紀最大の発見は、DNAの構造の発見と、遺伝の仕組みがわかったことである。その結果カビも昆虫も、植物も動物も人間も、生きとし生けるものすべては、同じ遺伝子暗号を使っていることがわかった。

このことは、相争っている人間も、自然環境の変化にさらされているすべての生物も、最初に生まれた命につながっている兄弟姉妹であることを意味している。

だからこそ、人と人が愛し合い、助け合い、そして、人間以外のすべての生物を思いやる心が大切であることを、生命科学の現場にいる者として感じている。

人類の最初の被爆地である広島に、黒人、白人、アジア人の3人のノーベル平和賞受賞者が集まり、多くの市民

と交流して、21世紀の初頭に平和へのメッセージを世界に向けて発信したことは大変有意義なことであった。

このメッセージの精神をいかに具体的ににするかについては、われわれ一人一人の行動にかかっている。

世界の困難な問題解決に日本人が努力することにより、日本を世界から尊敬される国にしたいものである。

この会議の最後に採択された広島国際平和会議の共同宣言文には次のような一節があった。「私たち人類は一つの家族です。私たちは、他者が味わっている苦しみ、痛みに関心であることをやめて、子供、弱者、高齢者の問題を、世界全体で考えなければならぬのです。問題が起こっているその原因は、私たち自分自身にあります。そして、その解決もまた私たち自分自身から始まるのです。世界を変えるのに必要な力は、あなたの中にあるのです。」

(むらかみ かずお)



幸せを届ける言葉

高橋美津志「ちよつとひとごと」

(善本社刊) から

母親

同じ産地で収穫される同じ野菜でも、天候によって味は毎日かわる。甘い時もあるれば、水臭い時もある。野菜をかじって、その時の味に合わせて味付けをするのが、一流の料理人だという。これと同じことが母親にもいえる。妊娠中の心遣いによって、生まれる子供の性格がみな違う。

素直な子供も、わがままな子供もいる。こどもの心を見極め、性格に合わせて躾をするのが、よき母親である。そういえば、歴史上に名を残す人々の背景には、慈悲深く信仰の厚い母親がいた。

『稿本天理教祖伝逸話篇』75

明治十二年秋、大阪の本田に住む中川文吉が、突然眼病にかかり失明せんばかりの重態となった。隣家に住む井筒梅治郎は、早速おたすけにかかり、三日三夜のうちに、鮮やかな御守護を頂いた。翌十三年のある日、中川文吉は、お礼詣りにお屋敷へ帰らせて頂いた。教祖は、中川にお会いになって、「よう親里を尋ねて帰って来なされた。一つ、わしと腕の握り比べをし、みましょう。」と、仰せになった。

日頃力自慢で、素人相撲の一つもやっていた中川は、このお言葉に一寸苦笑を禁じ得なかったが、拒む訳にもいかず、逞(たく)ましい両腕を差し伸べた。すると、教祖は、静かに中川の左手首を握りになり、中川の右手で、御自身の左手首を力限り握り締めるように、と仰せられた。そこで、中川は、仰せ通り、力

これが天理や

一杯に教祖のお手首を握った。と、不思議な事には、反対に、自分の左手首が折れるかと思うばかりの痛さを感じたので、思わず、「堪忍して下さい。」と、叫んだ。この時、教祖は、「何もビックリすることはないで。子供の方から力を入れて来たら、親も力を入れてやらにやならん。これが天理や。分かりましたか。」と、仰せられた。

【解説】

●明治十四、五年以降入信の高弟の先生方は、入信の当初、教祖の力だめしを受けられた方が多い。力だめしは、「神の方には倍の力や。」ということを、身を以て味わされたのですが、それを味わうことのできたのは、腕に力を入れて、せい一杯の力をふり絞って、教祖に向かわれたからです。●ここから学ぶこと：この道は精

神次第、力つくしての道であり、力つくすところに、神の方には倍の力を、という不思議なたすけの御守護をお見せ頂くのであります。今日では、教祖から直接力だめしを受けることはありませんが、お道を通る上で、折りにふれ、節に際して、存命の教祖の力だめしを受けているようなもので、「もうそれより力はないのかえ。」と力を入れて握れ。」と仰しやってくだされているのだと思っ、力つくして通らして貰うようなことが、度々あるのであります。

●このお話は、をやの理の何たるかをよく示しています。親里ぢばに子供が力一杯尽し運んで働けば、親神様にはその倍の力で応えてくださり、不思議なたすけの守護を見せて下さいます。存命の教祖は今も、わたしたち一人ひとりにこの力だめしをされているのです。